

製品安全データシート

PHENYL ETHYL ACETATE

作成 : 2011年2月15日  
改定 : 2022年12月15日

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 PHENYL ETHYL ACETATE(フェニルエチルアセテート)  
酢酸フェニルエチル

会社名 ETERNIS FINE CHEMICALS UK LTD  
住所 Macclesfield Road, Leek, Staffordshire UK ST13 8LD  
担当部署 sdsadvice  
電話番号 44 (0) 1538-392127  
FAX番号  
メールアドレス [sdsadvice@tennantsfinechemicals.com](mailto:sdsadvice@tennantsfinechemicals.com)  
緊急連絡先番号 +44 (0)1538 392198

販売代理店 サンケミカル株式会社  
住所: 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング  
電話番号 03-3661-6681  
FAX 03-3661-7055  
メールアドレス [yano@sun-chemical.co.jp](mailto:yano@sun-chemical.co.jp)  
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意  
フラグランス原料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類

分類 CLP 1272/2008

物理化学的危険性: 分類出来ない

健康に対する有害性: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1 H318

環境に対する有害性: 分類出来ない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分外	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル



● 注意喚起語

危険

● 危険有害性情報

Precautionary Statements	H318	重篤な眼の損傷
	P264	取扱後は、...よく洗うこと。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P305/P351/P338	タクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337/P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
換気の良いところで行うこと。使用しない際は密閉した容器に保管する事。  
十分に気を付けて取り扱う事。保管には元の容器を使用する事。  
蒸気を大量に吸い込まないこと。

【応急措置】

吸引した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、身体を休ませる。  
皮膚に付着した場合 直ぐにシャワーを浴びて、汚染された服を脱ぐこと。  
眼に入った場合 十分な水で10分間洗うこと。

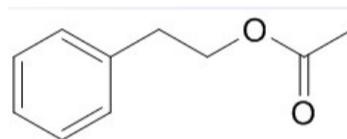
飲み込んだ場合	口を水でゆすいで少量の飲み水を与えること。 意識不明の患者の口に、水を与えないこと。 吐き気を促さないこと。直ぐに医師の診断を受けること。
その他	物質をそのまま曝露した場合、医師の診断を受けること。 医療従事者に本製品のデータシートを見せるか、 患者にデータシートを持参させること。
【保管】	酸化剤から遠ざけて保管すること。
【廃棄】	適切な温度での焼却処分が望ましい。 認定を受けた廃棄物処理業者に依頼をすること。 地方自治体、条令、法令の指示に従う事。

### 項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	単一品
化学名又は一般名	Phenyl Ethyl Acetate(フェニルエチルアセテート)
別名	酢酸フェニルエチル

#### 化学特性

CAS番号	103-45-7
EC番号	203-113-5
REACH登録番号	01-2119976340-38-0000
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)	>99.8%
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	安衛法 4-(7)-375 化審法 3-1040 3-1045



物質名	Cas	含有量	備考
酢酸	64-19-7	<0.05%	不純物

### ▲ 項目4 応急処置

**吸入した場合** 被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。気道を開いた状態に維持すること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。呼吸が困難な場合には適切な訓練を受けた人員が酸素投与を行って被災者を補助してもよい。意識のない者は横向きの回復体位に寝かせて呼吸していることを確認すること。

**皮膚に付着した場合** 水で洗うこと。

**眼に入った場合** 直ちに多量の水で洗うこと。コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。少なくとも10分間洗い続けること。

**飲み込んだ場合** 口を水で十分にすすぐこと。入れ歯があれば取り外すこと。小さなコップ数杯分の水または牛乳を飲ませること。嘔吐すると危険な場合があるので被災者が嘔吐しそうになったら止めること。医療関係者の指示がない限り無理に吐かせてはならない。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。意識のない者は横向きの回復体位に寝かせて呼吸を確認すること。気道を開いた状態に維持すること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。

**その他** 物質をそのまま曝露した場合、医師の診断を受けること。  
医療従事者に本製品のデータシートを見せるか、  
患者にデータシートを持参させること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

**吸引** 長期にわたる高濃度の吸入は呼吸器系に損傷を与えるおそれがある。

**経口摂取** 胃腸症状、胃のむかつきを含む。胃の内容物からのフェームを吸入し、吸入した場合と同じ症状を招くことがある。

**皮膚接触** 長期にわたり接触すると皮膚の乾燥を引き起こすおそれがある。

眼接触 一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある。

応急処置をする者のための応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

医師に対する特別な注意事項  
症候に基づいた処置を行うこと。

---

項目5 火災時の措置	
消火剤	炭酸ガス、粉末消火剤、水噴霧、 周囲の状況に適した消火剤を使用すること。
消火に適さない消火剤	棒状水
火災時の措置に関する 特有の危険有害性	火災時は容器が膨張や破裂するおそれがある。 燃えている際、鼻に刺激のある煙を発生するおそれがある。
特有の消火方法	火災現場から離れる。熱を持った容器を水噴霧で冷やして火災場所から遠ざける。 漏出物がまだ漏れていない場合、水噴霧で蒸気と火災を覆う。 消火後の汚染物が排水に流れないようにすること。 流れるリスクがある際は、自治体に連絡を行う。
消火を行う者の保護	有害ガス、蒸気がある場合、自給式呼吸機器と適切な保護具を着用すること。

---

項目6 漏出時の措置	
	保護具
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	30L以上の漏出時 耐化学品用オーバーオール 長靴、ブーツ 耐化学品用のPVCで出来た手袋 有機ガス用呼吸器
	30L以下の漏出時 工業用の保護具 ブーツ 耐化学品用のPVC手袋 眼の保護具
封じ込め及び浄化の方法及び機材	可能なら零れた製品を回収すること。 零れた製品を砂か不活性物質に吸収させ、安全な場所に移す。 製品が排水口に流れないように気をつけること。 排水口にソックスや排水防止具をつける。 回収後、十分な水で汚染された場所を洗うこと。 回収に使用したものを、密封した容器に移して処分すること。

---

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。
技術的対策 (局所排気、全体換気)		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項		取扱い注意事項を事前によんでおくこと。 取扱い時は保護具を着用すること。 取扱い場所での飲食物、飼料から遠ざける。 漏出は必要最低限に迄抑えて取扱う。 不使用時は容器を密閉保管すること。 ミストの発生をさせない。 水生環境に放出しないこと。 皮膚に触れたらすぐに洗い流す。 保護具は汚れたら取り替えて、再使用前に洗濯をすること。 取扱い場所での飲食喫煙をしない。 取扱い後は手を洗うこと。
接触回避		
衛生対策		
保管		
安全な保管条件		酸化剤から遠ざけて保管すること。

安全な保管保管包装材料 元の容器

容器:316ステンレススチール  
 封:パーフロロエラストマー(Kalrez社製)  
 ガasket:316ステンレススチールに支えられたグラファイト、もしくは、  
 ステンレスフリーのアラミド繊維複合材料  
 容器の保管は地方自治体、条令、法律に従うこと。

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

**設備対策** 十分な換気を行うこと。  
 個人、職場環境、生体監視が換気や他の管理手法に必要な  
 呼吸器の保護具の選定に必要な。  
 暴露の最小化手段として全体/局所換気の衛生管理のシステムを使用すること。  
 衛生管理方法で労働者の暴露を十分に管理できない場合、  
 個人用の保護具を活用すること。

衛生システムは定期的にメンテナンスを行う事。  
 日々の訓練で暴露を最小限に抑えるようにしておくこと。

**管理濃度**

**許容濃度**

日本産業衛生学会( 2005 年版)	知見無し
ACGIH( 2005 年)	知見無し

**DNEL**

**導出無毒性量**

職場	吸入	長期	全体効果	6.5 mg/m3
職場	経皮	長期	全体効果	2.27 mg/kg/day
一般	吸入	長期	全体効果	1.16 mg/m3
一般	経皮	長期	全体効果	1.14 mg/kg/day
一般	経口	長期	全体効果	0.42 mg/kg/day
一般	経口	短期	全体効果	2.5 mg/kg/day

**PNEC**

**予測無影響濃度**

淡水	0.011 mg/l
海水	0.001 mg/l
標準	10 mg/l
堆積物(淡水)	0.128 mg/kg
堆積物(海水)	0.013 mg/kg
土壌	0.019 mg/kg

**保護具**

呼吸用保護具	通常使用の場合は不要ですが、ミストと接触する際は有機ガス用呼吸機器を使用下さい。
手の保護具	PVCで出来た手袋
眼の保護具	眼全体を覆う眼の保護具(スキー用ゴーグルのような)
皮膚及び身体の保護具	通常の工業保護具を着用すること。

**特別な注意事項**

項目9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)	無色
臭い	フルーツ臭
臭いのしきい値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	-31℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	232℃
引火点	101℃(密閉)
蒸発速度	8.7Pa (20℃)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	5.7(空気=1)
比重(相対密度)	1.03
溶解度	1.0g/L(EU A6)
自然発火温度	461℃(EU A15)
粘度(粘性率)	6.0mPas
その他データ	
ヘンリーの法則	1.3Pa m3/mol
電気伝導	0.01 μS/cm

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	180°Cまでは安定
危険有害反応可能性	フェニルエチルアルコールと酢酸にゆっくり加水分解する
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	水、酸化剤
混触危険物質	強酸化剤に強く反応する。
危険有害な分解生成物 その他	ない。

★ 項目11 有害情報

急性毒性

曝露経路	試験方法	種	服用量	曝露時間	備考
LD50経口	OECD401	ラット	5000mg/kg		
LD50経皮	OECD402	ラビット	6210mg/kg		
LC50吸引	OECD403	ラット	>0.77mg/m <sup>3</sup>	4h	

皮膚腐食性及び皮膚刺激性/呼吸器感作性又は皮膚感作性

曝露経路	試験方法	種	服用量	曝露時間	備考
皮膚腐食		ラビット	0.5ml	4h	わずかな紅斑、ほとんど確認できない
皮膚刺激	OECD404	ラビット			浮腫スコア: わずかな浮腫。72h以内に可逆。刺激なし
眼刺激	EPA OPP 81-4	ラビット	0.1ml		スコア/角膜 0.33、虹彩 067、結膜発赤 2、結膜浮腫1.89。7日で治癒したが、完治はしなかった。
呼吸器感作性	REACH ANNEX VII, IX, XI				終了点の放棄
感作性	Maximisation Test	ヒト			感作性なし

生殖細胞変異性

曝露経路	試験方法	種	服用	曝露時間	備考
In vivo	染色体異常		陰性		読み取り法
In vitro	バクテリア逆変異試験		陰性		読み取り法

発がん性

曝露経路	試験方法	種	服用	曝露時間	備考
NOAEL 経口		マウス	NOAEL 300mg/kgbw/day		

発達毒性

曝露経路	試験方法	種	服用	曝露時間	備考
妊娠	化学的に不当				

発達	NOAEL 経口	OECD414	ラット	500 mg/kg/day		
----	-------------	---------	-----	---------------	--	--

曝露経路の入口情報 経皮

反復曝露

曝露経路	試験方法	種	服用	曝露時間	備考
NOAEL		ラット	500mg/kgbw/day		読み取り法

その他

眼に触れると 深刻な刺激がある  
 皮膚に触れると わずかに刺激がある  
 吸引すると 吸引の可能性は低い  
 口には入ると データ無し

潜在的な慢性毒性の効果 データ無し  
 潜在的な発がん、生殖変異、反復曝露の効果 データ無し

## 項目12 環境毒性情報

残留性・分解性

OECD301Fでは28日で72%として示した。10日間で容易に分解する。

土壌中の移動性

わずかに水に溶けて、環境中に広がる。  
 吸着脱着係数 土壌 Log Koc 1.91@30°C

生体蓄積性

生体蓄積しないと考えられている。  
 分配係数 Log Kog 2.4

生態毒性

曝露経路	試験方法	種	服用	曝露時間	備考
LC80		魚	10.5mg/L	96h	
EC50	OECD202	大ミジンコ	36.6mg/L	48h	
EC50	OECD201	藻	40mg/L 成長率	72h	プセウドキルクネリエラ
NOEC	OECD201	藻	4.4mg/L 成長率	72h	プセウドキルクネリエラ
LOEC	OECD201	藻	16mg/l	72h	プセウドキルクネリエラ
EC50	OECD209	活性下水汚泥	> 1000mg/L	3h	
NOEC	OECD209	活性下水汚泥	100mg/L	3h	

NOEC=無影響濃度

オゾン層への有害性  
 知見なし

## ▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物 可能ならリサイクルする。そうでない場合、処理場に持って行き、火葬する。

汚染容器及び包装 状態が良ければ、スチールドラムを洗浄後、再利用かスクラップ金属としてリサイクルできる。

注釈 適切な温度での焼却処分が望ましい。認定を受けた廃棄物処理業者に依頼をすること。地方自治体、条令、法令の指示に従う事。

## 項目14 輸送上の注意

国際規制  
 国連番号 分類出来ない  
 品名(国連輸送名) 分類出来ない

国連分類  
 (輸送における危険有害性クラス)

容器等級 分類出来ない  
 海洋汚染物質 知見なし

(該当・非該当)

ADR/AIR/SEA CLASS No.	分類出来ない
ADR HAZARD ID No.	分類出来ない
SUBSIDIARY CLASS Not Classified	分類出来ない
HAZCHEM	分類出来ない

---

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

安衛法	表示・通知対象 非該当
毒劇法	非該当
消防法	第四類第3石油類(引火点より分類) 非水溶性液体

---

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS Eternis Fine Chemicals UK LTD 2022年11月22日  
独立行政法人製品評価技術基盤機構

その他

記載内容の問い合わせ先

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用を目的としたものではありません。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

---

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能な限り記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目 (但し、ラベルに全て載せる必要はない)